

第5節 協働で良好な環境を未来につなぐ人づくり

施策の方向 13 人づくりの推進

関連する
SDGs の目標



環境保全意識の醸成に関する施策を進めます。また、各種環境に関連する情報を収集・提供するための施策を進めます。

【評価指標の達成状況】

【(達成状況) 達成○、基準年度比：維持□、向上△、低下▼】

項目名	基準値 (平成 28 年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和 9 年度)	達成 状況
学校での地球温暖化等に関する出前講座の実施回数	4 回	10 回	増加させる	○
環境に関する出前講座の実施回数(市民・事業者向け)	25 回	45 回	29 回	○
自然観察会等の実施回数	129 回	148 回	維持する	○

施策① 啓発事業の推進

(1) 啓発事業の実施

ア 日常における環境配慮指針の周知

第4次長岡市環境基本計画(平成30年3月策定)では、良好な環境を将来の世代へ引き継ぐため、私たちが取り組むべき「環境配慮指針」を設け、市ホームページや市有施設に本計画と概要版を設置するなど周知を図りました。

イ 環境月間行事の充実



環境に関する認識を深めるとともに、環境保全の取り組みを促進するため、環境月間である6月にCOOL CHOICEやライトダウンキャンペーンの実施、食品ロスの削減を市民に呼び掛ける啓発事業を行いました。

また、新潟県の「ライトダウンキャンペーン in にいがた」に賛同し、七夕(7月7日)の一斉ライトダウンへの参加をホームページ等で呼びかけるとともに、公共施設等計55施設で電気を消灯し、節電による地球温暖化防止に取り組みました。

ウ 各種啓発事業の実施

市民の皆さんに楽しみながら環境について関心を持ってもらうため、各種啓発事業を実施しています。令和元年度は、次表の事業を実施しました。

事業名	内容	実施日	参加人数
花いっぱいフェア	間伐材の一輪挿しづくりを行った。新潟県地球温暖化防止活動推進員が間伐の目的や効果を説明し、地球温暖化防止の啓発を図った。	5月25日(土)、 26日(日)	122人
エコロジー標語コンクール	市内小・中学校に通う児童・生徒を対象に節電及び食品ロスに関する標語を募集。入賞作品20点を市有施設、「長岡市ごみ情報誌」等で発表するとともに、金賞受賞作品を用いたステッカーをごみ収集車等に貼付し啓発をした。	6月21日(金) ～ 3月31日(火)	1,045人
夏休み子ども環境体験フェア	水辺の生き物調査(講師:寺泊水族博物館学芸員)やトキの飼育員体験等を行う自然探検及びごみ処理施設等の見学を行う施設探検を実施した。	7月27日(土) 7月30日(火)	29人
ながおかエコフェス 2019 NEW	新潟県地球温暖化防止活動推進センターや市内企業と官民協働でエコドライブシミュレーターやグリーンカーテン体験、間伐材を使った木工体験や窓の断熱体験などを行い、環境保全についての啓発を図った。	8月18日(日)	387人

エ 環境関連パンフレット、DVD教材等の作成

第5節－施策の方向13－施策③－(1)－ウ 環境関連パンフレット、DVD教材等の作成を参照(60ページ)

NEW

オ クールシェアの推進



市では、家族でひとつの部屋に集まることや公共施設の利用等により、一人ひとりが使うエアコンの台数を減らして、涼しさを共有するクールシェアを推進しています。

令和元年度は、公共施設でのクールシェアスポット設置に加え、案内掲示やSNSによる周知を図りました。



(2) 自然環境の保全活動や自然体験イベント等の実施

ア 自然観察会等の実施・開催 

事業名	内容・回数等	開催日	参加人数
夏休みこども環境体験フェア(自然探検コース)	自然環境保全の重要性を理解するため、小学生を対象に水辺の生き物調査やトキの飼育員体験等を実施した。	7月27日(日)	15人
冬の海鳥観察会	カモメやウミネコなど、冬の日本海の海鳥を観察し、鳥たちの意外な生態を学ぶ。	令和2年2月23日(日)	43人
市民探鳥会	野鳥観察を通して、長岡の自然及び鳥類の生態への知識・理解を深める。	4月～11月 (6回開催)	109人
キノコの展示会	市内で採集されたキノコを展示し、キノコに対する市民の興味関心を高める。	9月23日(月)	279人
ギフチョウ探蝶会	ギフチョウを観察し、その生活史や生息環境について学ぶ。	4月29日(月)	6人
越冬昆虫観察会	信濃川河川敷で甲虫類が越冬している様子を観察し、どのように冬を乗り越えるのかを学ぶ。	11月23日(土)	26人
水生生物探索会	水辺の観察を通し生物への関心を深める。	7月28日(日)、 8月4日(日)、 11月10日(日)	47人

イ 保育園・幼稚園でのグリーンカーテンの栽培



子どもたちの環境保全意識を醸成するため、公立保育園・幼稚園を対象にグリーンカーテン体験事業を行っています。

令和元年度は市立幼、保育園19園につる性植物の種・苗と必要な物品を配布し、グリーンカーテンを栽培しました。また、育てた植物の収穫やゴーヤの実食などの食育を通してグリーンカーテンの効果を体験しました。

ウ 東山ふれあい農業公園やふるさと体験農業センターの利用促進

第2節－施策の方向3－施策③－(2)－イ 東山ふれあい農業公園やふるさと体験農業センターの利用促進を参照(17ページ)

エ ふれあい林業事業

都市部の住民とのふれあいを通し林業への理解を深め、林業の活性化を図るため実施しています。令和元年度は、中越よつば森林組合と協力し、「ながおか農業ふれあいまつり」において木工教室を実施しました。

令和元年11月3日開催の「みしま産業まつり」において、中越よつば森林組合が木工教室を開催しました。

また、太平山において、下草刈り・枝打ちなどの森林整備を行いました。

施策② 環境教育の推進

(1) 子ども達への環境学習の場の創出

ア 小・中学校での教育課程における環境学習の取り組み

各学校では、環境教育を年間教育計画に位置付け、教育活動全体の中で自然体験活動や環境保全に関する学習を計画的・継続的に実施しています。

①社会科副読本の環境学習項目の充実

小学校3・4年使用の社会科副読本「わたしたちのまち長岡」の学習項目に『くらしのなかの水とごみ』を設けています。水の学習では、浄水や節水について、また、ごみの学習では、ごみの減量化や分別収集等についての学習を行い、環境学習を推進しています。

この副読本は3年おきに改訂しており、令和元年度は平成28年度版を使用しました。長岡市が平成16年から実施しているごみ収集の有料化や平成25年から開始したごみの10種類12分別の分別、収集方法、生ごみバイオガス化事業などについて詳しく記述しています。また、見出しを『ごみをへらそう、見直そう』として、もったいない意識の醸成とごみを増やさない3R（リデュース、リユース、リサイクル）といった児童にできる取り組みや、『環境にやさしいまちづくり』として、長岡市の3つの新エネルギー（地場産の天然ガス、バイオマス資源、太陽エネルギー）を紹介するなど、環境学習の充実に努めました。

②地域の自然を生かした特色ある環境学習の取り組み

栖吉川など学区を流れる河川などで、指標生物の生息状況を調査し、過去のデータと照らし合わせ、河川環境の変化と保全などについて学びました。生物と水の環境について学ぶ学校が増えています。

③環境と人権を守る取り組み

環境学習、総合的な学習の時間、道徳と関連を図り、新潟水俣病について学び、環境と人権を守るために「自分たちができること」について学んでいます。

④窓際植生への取り組み

夏場の学習環境の改善、節電、自然環境保全への意識を高める環境教育の一環として、窓際植生（グリーンカーテン）に取り組む学校があります。

イ 地球温暖化対策講座の実施



地球温暖化の基本的な知識と関心を醸成し、家庭で地球温暖化対策に取り組む行動をとってもらうことを目的に「地球温暖化対策講座」を実施しています。

令和元年度は、小学校4～6年生及びその保護者を対象に10校で実施しました。講座では、地球温暖化の基本的な情報を伝えるほか、間伐材を使ったマイ箸づくりなどの体験講座を通じて、家庭でできる地球温暖化防止の取り組みなどを紹介しました。



地球温暖化対策講座

(2) 市民・事業者の環境保全に対する意識の醸成

ア 市政出前講座の実施



市民・事業者の環境保全に対する意識の醸成を図るため、環境に関する市政出前講座を実施しています。

講座名	開催日	参加者数
みんなで防ごう！地球温暖化	8月28日(水)、10月9日(水)	延べ130人
ごみの分け方・出し方出前講座	4月～令和2年3月(43回)	延べ1,438人

イ ごみ処理施設等の見学会の実施

令和元年度は、市内の小学校の社会科授業や中学校、高校の総合学習など学校関係の見学が45件2,067人、一般の団体の見学が40件449人ありました。合計で85件2,516人の方が寿・鳥越クリーンセンターごみ処理施設、リサイクルプラザ、生ごみバイオガス発電センター等を見学し、3Rを始めとした環境問題を考えるきっかけになっています。

ウ 自然観察会・展示会の実施・開催

第5節－施策の方向13－施策①－(2)－ア 自然観察会等の実施・開催を参照(57ページ)

施策③ 環境情報の収集と提供

(1) 市の広報誌、ホームページ、SNS等の活用による情報提供

ア ごみ情報誌等による3R等の意識啓発

ごみの減量・リサイクルの必要性について市民や事業者から理解を深めてもらうため、「ごみ情報誌」を発行しています。令和元年度は11月、3月の計2回発行し、市政だよりとともに全戸配布し、ごみ処理の現状をお知らせするとともに、ごみの減量や環境美化に取り組む市民や団体を紹介するなど、3Rの意識啓発を図りました。

イ 節電啓発に関する取り組み

市民や事業者から節電に関する取り組みを進めていただくため、電気機器の使用が増える7月に、市ホームページやSNS等を通じて節電の啓発をしました。

ウ 環境関連パンフレット、DVD教材等の作成

ごみと資源物の分別方法とごみ処理の様子などをわかりやすく紹介するDVD「家庭ごみの分け方と出し方」を町内会や学校の教材としても随時貸出しを行っています。

エ 長岡市ホームページ等による情報の提供・市民意見の聴取

環境保全対策に係る計画や環境啓発事業、自然環境保全、公害規制、公害等の調査、地下水保全など、環境に関する情報を市の広報誌やホームページ、SNS等において情報発信しています。

また、「環境に関する年次報告書」では、「長岡市環境基本計画」の進捗状況を公表するとともに、市民のみなさんから意見を募るため巻末に意見書用紙を付しています。

(2) 国、県等の行う調査研究に対する協力

市では、信濃川水系の市町村によって構成される「信濃川を守る協議会」の幹事市として長岡ブロック内の連絡調整や、県と高速自動車道沿線の市町村によって構成される「新潟県高速道路交通公害対策協議会」を通じて騒音対策の要望など、広域的な取り組みを行っています。また、「新潟県環境保全連合会」に入会し、環境関連団体等と連携を図っています。



市民、事業者、NPO等との協働による環境保全の取組を推進するため、市民、事業者、NPO等の取組の支援や環境教育・環境学習の推進等に関する施策を進めます。

【評価指標の達成状況】

【(達成状況) 達成○、基準年度比：維持□、向上△、低下▼】

項目名	基準値 (平成 28 年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和 9 年度)	達成 状況
官民協働で行う 環境イベントの開催回数	2 回	3 回	3 回	○

施策① 市民、事業者、NPO等の取組の推進

(1) 環境配慮指針の周知による環境保全意識の醸成

第5節－施策の方向13－施策①－(1)－ア 日常における環境配慮指針の周知を参照(55 ページ)

(2) 市民、地域、NPO等の環境保全活動の支援

ア 資源回収団体の支援

第1節－施策の方向2－施策①－(6)－ア 集団資源回収の推奨、資源回収団体への支援、資源回収業者の育成を参照(11 ページ)

イ 家庭用生ごみ処理機の設置補助

第1節－施策の方向2－施策①－(5)－イ 家庭用生ごみ処理機の設置補助を参照(11 ページ)

ウ こどもエコクラブの育成

(公財)日本環境協会は、小中学生が主体的に行う環境学習や環境保全に関する活動を支援する「こどもエコクラブ」事業を行っています。

市は、協会とこどもエコクラブ登録団体間の連絡調整を行っています。

市内では、1クラブ24人が登録しており、令和元年度は、太陽をテーマに、ソーラー工作など様々な活動を行いました。

エ 緑の少年団の育成

自然に親しみ、緑を守り、緑を育てる思想を啓発し、心豊かな人間に育っていくことを目的に緑の少年団を育成しています。市内では、長岡市緑の少年団、山古志緑の少年団、かみしお緑の少年団、かわぐち緑の少年団の4団体が結成されており、緑化活動等への支援を継続して行っています。

オ 中古衣料品即売会への支援

家庭で眠っている贈答品や中古衣料品を活かすため、中古衣料品即売会を開催しました。この即売会は、長岡市消費者協会の主催により年1回開催されるもので、市消費生活センターも協力しました。令和元年度は10月に実施しました。

カ 多面的機能支払交付金事業による支援

第2節－施策の方向3－施策②－(2)－イ 多面的機能支払交付金事業による支援を参照(15ページ)

キ 市民緑地の整備・市民参加による公園づくりの推進

第4節－施策の方向11－施策①－(2)－イ 市民緑地の整備・市民参加による公園づくりの推進を参照(49ページ)

ク 環境保全活動の共同実施

第1節－施策の方向2－施策①－(6)－ウ 環境保全活動の共同実施を参照(11ページ)

(3) 環境保全に対する市民の意識の醸成

第3節－施策の方向10－施策③－(1)－ア クリーン作戦の実施を参照(45ページ)

(4) 事業活動における環境保全対策の取組支援

ア 省エネルギー設備等の設置

第1節－施策の方向1－施策①－(2)－ア 省エネルギー設備等の設置補助を参照(4ページ)

イ ノーマイカーデーの実施

第1節－施策の方向1－施策①－(3)－ア ノーマイカーデーの実施を参照(5ページ)

ウ 圧縮天然ガス自動車の導入

第1節－施策の方向1－施策①－(3)－ウ 圧縮天然ガス自動車の普及促進を参照(6ページ)

(5) 事業者によるエコビジネスの支援

第1節－施策の方向2－施策②－(1)グリーン購入の推進を参照(12ページ)

(6) 環境保全に取り組む事業者のネットワークづくり

ア 官民一体のイベントの開催

持続可能な社会づくりへの意識を高めてもらうことを目的に、長岡市トキと自然の学習館（寺泊夏戸）で環境保全に取り組む事業者等と連携し、「ながおかエコフェス 2019」を実施しました。8月18日（日）に開催し、自転車による発電やエコドライブシミュレーター体験、断熱窓の効果体験等を通じて、楽しみながら環境を保全する重要性について、啓発しました。

また、11月10日（日）には、新潟県が主催する「にいがた環境フェスティバル 2019」に長岡市として出展し、県内自治体や事業者とともに環境啓発活動を行いました。



エコフェス環境啓発ブース 自転車発電体験

イ 環境保全に取り組む事業者との連携・情報交換

中越地区においては、「中越地区環境保全協議会」、「中越地区産業廃棄物広域処理対策推進協議会」などに加入し、構成員相互の研修や情報交換等を行っています。

(7) 事業者向けセミナー等の開催

3月5日（木）に新潟県産業資源循環協会長岡支部及び中越地区環境保全協議会との共催により、合同研修会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためセミナーの開催は中止となりました。

なお、協会員をはじめ59名の参加申込みがあったため、資料送付により啓発しました。